

社 銅ニッケル
米 アメテック

銅ニッケル錫合金板条

日本市場で拡販

ニッケル箔事業などを展開する米アメテック社は、日本市場で銅ニッケル錫合金板条の拡販を目指している。



す。銅ニッケル錫合金は高強度で加工性が高いほか、高温下でも弾力性を保持する応力緩和特性に優れている。今年1月から金属材料の販売事業を展開するアイ・エフ・アール（本社・東京都港区）と代理店契約を締結。同社を通してサンプル供給を始めた。スマートフォン部品関連などの市場を狙う方針だ。

アメテック社が生産するのは銅にニッケル15%、錫8%を添加した合金の板条。成分に加え生産プロセスを工夫したスピノーダル分解合金となっている。同社はスピノーダル分解合金の草分け的な存在で、原料となる金属粉末を焼結して冷間圧延する独自製法を採用。溶解鑄造で製造する一般的な銅ニッケル錫のスピノーダル分解合金と比べて、効率的に小ロット対応できるほか、ロットごとの成分が均一になる。加えて不純物やプレス加工する際の金型への影響が少ないことも特長。6カ月から1年後には日本市場向けに本格的に拡販したい考えだ。